

大月市 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用状況（令和3年度計画分）

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	事業経費内訳		事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
			①事業内容	②③交付金を充当する経費内容			
1	グリーンワーケーション大月推進事業	12,608,200	12,500,000	①アフターコロナに向け、継続的な事業活動を維持するため、テレワークや二拠点居住など「新たな働き方」を模索しながら、市外から市内に新たにオフィスを移転またはサテライトオフィスを開設した事業者を支援するとともに、地域振興の活性化を図る。 ② ・二拠点居住情報発信業務 ③ ・大月地域ブランド創出事業業務委託 12,608,200 -地域企業間 機運醸成フォーラム・ワークショップ開催 -事業戦略設計	R3.9.30	R4.3.25	・アフターコロナに向け、継続的な事業活動を維持していくための働く場所を提供。 ・サテライトオフィスを活用してもらいながら、本市を訪れていただき、興味や関心、訪問滞在から観光振興、移住・定住やの二拠点居住生活を推進する拠点施設と位置付ける。 ・当施設をサテライトオフィスを利用する方や地域住民を繋ぎ、地域の課題解決や、本市だけでなく周辺地域への人流である観光誘客やマーケットである都心への商品を届ける物流の地域拠点とするための取組みを継続する。 ・各種団体や企業における地域ブランドの創出に向けた取り組みや、PR動画の作成、地域の子供たちや地域住民と未来の大月市をカタチにするビジョンマップの作製などのワークショップを実施した。 ・まずは「大月を」「サテライトオフィスを」広く多くの企業の方々に活用していただき、本市を知ってもらい、立地や環境などを感じて頂きながら繰り返し訪れて頂き、関係人口の創出から、地域の方々との交流機会、地域課題の解決に向けた活動などを進めて行く。
2	児童登下校安全対策バス運行事業	18,844,575	16,504,000	①スクールバス内での3密解消のため、乗車人数が多い路線について、バス3台増便を継続する。 ②3密解消のための、スクールバス増便経費 ③1学期分7,021,080+2学期分8,093,745+3学期分4,875,750=19,980,575	R3.4.6	R4.3.25	・スクールバスで移動中の3密を解消できたため、児童生徒及び保護者の登下校に対する不安を軽減できた。 ・スクールバスで移動中の3密を解消できたため、登下校に起因する感染者が発生しなかった。
3	がんばろう大月・公共交通事業者等支援金	7,860,000	7,800,000	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛要請や各種施設休業により、継続的な運送事業に支障を生じている公共交通事業者等に対し、事業継続のための支援を行うものである。 ③路線バス会社43台、貸切バス事業者8台、タクシー事業者（福祉タクシー含む）36台、運転代行事業者推定1台 7,680,000	R3.5.14	R4.3.31	・コロナ禍におけるバス事業者をはじめとする市内公共交通事業者に対し、外出自粛要請などによる外出自粛に伴う利用者の減少により経営に苦慮する、運送事業の経営継続のための経費を助成し、市民の足の確保につなげた。
4	大月スマイルプロジェクト支援事業	1,942,324	1,500,000	①新型コロナウイルス感染症の拡大による消費低迷により、経営に支障が生じている市内の飲食、宿泊、観光、小売業を営む小規模事業者の事業継続を支援するため、大月市商工会が主体となって行うクラウドファンディング事業「大月スマイルプロジェクト」に要する経費の一部を補助する。 ②クラウドファンディングリターン品（商品券）のプレミアム分。クラウドファンディング手数料。「大月スマイルプロジェクト」に要する事務費。 ③クラウドファンディングで集まった支援金額（5,204千円）×25%（プレミアム分15%、手数料10%）1,348,540。印刷費、宣伝費、委託費、消耗品費等の事務費 593,784 ④大月市商工会	R2.6.1	R4.3.31	市内の46店の事業所が参加し、支援者555人合計5,204,000円の支援を受けることができた。市内だけではなく市外県外からの支援もありリターン品の商品券の使用により消費の回復につながった。
5	福祉センター（福祉避難所）空調更新事業	31,023,300	30,700,000	①地域福祉の拠点として活用されていること及び福祉避難所として利用することから、新型コロナウイルスがまん延する中、感染防止対策を図るため。 ②福祉センターの空調改修工事 ③・空調機器整備（5系統） 屋外機5台、屋内機18台設置 22,801,900（電気設備、内装補修工事含む） ・換気設備 全熱交換機 13台 設置 8,221,400（電気設備、内装補修工事含む） ④大月市総合福祉センター 4F～6F	R3.9.30	R4.3.18	空調設備の整備に必要な、空調設備機器（6系統）である屋外機6台、屋内機18台及び換気設備機器である全熱交換器13台の全てが更新され、支障なく稼働していることを確認。 今後の必要時に際して、地域福祉の拠点及び福祉避難所として活用が図れる。

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	事業経費内訳		事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果検証
			①事業内容	②③交付金を充当する経費内容			
6	家庭における読書活動推進事業	3,000,087	2,900,000	①コロナ禍における在宅で過ごす時間を豊かなものにするため、図書資料の蔵書を増やすことにより、読書環境の充実の取り組み。 ②市立図書館図書資料の購入 ③@図書1,364冊 2,916,297 視聴覚資料 36点 83,790	R3.7.1	R4.2.28	交付金の活用により図書資料や大活字本・L Lブックなど有効な図書の購入により蔵書が増加し、読書環境の充実が図れた。
7	公共施設感染症対策事業 (非接触型顔認識検温器等整備)	5,297,160	5,000,000	①非接触型顔認識検温器(アルコール自動噴霧器付き)、オゾンガス発生装置を設置することにより、感染症拡大の防止及び衛生環境を保つ。 ④ ⑦検温器： (i)本庁舎2台、第二庁舎1台、花咲庁舎1台、出張所6台、市民会館(2台) 図書館(1台) 郷土資料館1台、総合体育館1台 1,204,500 (ii) 保育所(園)・幼稚園8台 739,200、 (iii) 学童クラブ4台 272,800 ⑧オゾンガス発生装置 ：保育所(園)・幼稚園10台 2,966,260 ⑨学童クラブ児童利用テーブル ：学童クラブ13台 114,400	R2.4.1	R2.7.31	本庁舎、第二庁舎、花咲庁舎・学童クラブ・保育所・幼稚園・社会教育施設の出入口に非接触型顔認識検温器等を配置することで、感染症拡大の防止及び衛生環境に寄与できた。
8	公共施設感染症対策事業 (水道蛇口自動水栓化)	7,449,530	7,000,000	①市内公共施設のトイレの蛇口を自動水栓化することにより、感染症拡大の防止及び衛生環境を保つ。 ②トイレの蛇口の自動水栓等にするための修繕料 ③ (i) 都市公園(岩殿山公園・猿橋公園)・ふれあいの館・名勝猿橋 10個 660,000 (ii) 市民会館 37個 2,431,000 (iii) 総合体育館 1個 68,530 (iv) 社会体育施設 43個 2,948,000 (v) 庁舎分 27個1,342,000	R2.4.1	R2.3.12	庁舎・都市公園・社会教育体育施設の水道蛇口自動水栓化により、感染拡大防止に寄与できた。
9	公共施設感染症対策事業 (トイレの洋式化)	9,311,500	9,000,000	①公共施設トイレの洋式化することにより、感染症拡大の防止及び衛生環境を保つ。 ②トイレの床の洋式化にかかる改修委託料 ③ (i) 都市公園(岩殿山公園・猿橋公園)・ふれあいの館・名勝猿橋 11組 4,834,500 (ii) 市民会館 3組 1,507,000 (iii) 社会体育施設 (総合体育館・総合グラウンド(野球場・陸上競技場・テニスコート) 8組 2,970,000	R2.5.1	R2.7.31	・都市公園及び社会体育施設の和式トイレを洋式化することで、飛沫の拡散防止ができ、感染拡大防止に寄与できた。

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	事業経費内訳		事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
			①事業内容	②③交付金を充当する経費内容			
10	小中学校感染症対策事業	47,460,160	44,770,000	①学校内での感染症の拡大防止のため、トイレの飛沫拡散防止対策として、洋式化を行う。また、接触感染対策として水道蛇口改修（レバー化、自動水栓化）を行う。 ②③ ・トイレ改修等 （i）鳥沢小トイレの洋式化 1箇所 42,160,800 ・蛇口の改修 （ii）蛇口のレバー化 小学校225箇所、中学校195箇所 591,360 （iii）自動水洗化 31箇所 2,035,000円 （iv）自動水栓化 37箇所 2,673,000円	R2.8.1	R3.3.31	・和式トイレを洋式化することで、飛沫の拡散防止ができ、感染拡大防止に寄与できた。 ・蛇口をレバー化することで、を行うことで、手の甲やひじなどを使って開け閉めできるため、感染リスクの低減を図ることができた。また、トイレや保健室については自動水栓化することで、より衛生的に手洗いを行うことができ、感染拡大予防に寄与できた ・上記の対策を行うことで、学校内での感染者は発生しなかった。
11	「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」への市単独上乗せ	15,550,000	15,550,000	①コロナ渦で、女性や非正規労働者への雇用に深刻な影響が出ているが、厳しい状況の中でがんばっている低所得の子育て世帯の食費等の負担や家事負担の軽減を図り、生活の支援を行うことを目的に実施する。 ②国が実施する「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給対象者へ、市独自の感染症対策施策として、児童一人あたり5万円を上乗せする。 ③支給対象 311人（ひとり親 195人、その他世帯 116人） 児童一人あたり 5万円 ④国の制度と同要件 ア. 児童扶養手当受給者等（低所得のひとり親世帯） イ. ア以外の住民税非課税の子育て世帯等（その他低所得の子育て世帯） ※ア、イの対象となる児童は18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある児童（障害児の場合は20歳未満）	R2.5.15	R4.2.18	・予算に対し100%の給付率であり、子育て世帯の経済的負担を軽減する効果があった。
12	新型コロナウイルス感染症検査費用支援事業	0	0	①まん延防止等重点措置等対象区域への通勤。通学者に対する新型コロナウイルス感染症検査費用の補助			(計画したが実施なし)
13	観光案内看板整備事業	626,450	0	①withコロナ、afterコロナにおける誘客にあたり、密にならない屋外のアクティビティの情報を発信する。 ②QRコードを利用した多言語案内看板の整備 ③626,450円×1箇所 ④大月駅前案内看板 その他財源：山梨県県内観光資源多言語案内加速化事業費補助金（補助率1/2）	R4.1.15	R4.3.11	・写真と多言語による解説文により、日本人・外国人問わず多くの観光客に市の観光資源をアピールできた。

(単位：円)

No.	事業名	総事業費	事業経費内訳		事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果検証
			うち交付金充当	①事業内容 ②③交付金を充当する経費内容 ④事業の対象			
14	がんばろう大月 休業等要請 協力支援事業	25,600,000	23,751,000	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、山梨県からの要請により、休業等を余儀なくされている市内の飲食事業者等への支援のため、「山梨県休業等要請協力金」に独自の支援金を給付する。</p> <p>②休業等要請協力支援金</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時支援金分 14件 4,200,000 ・月次支援金分 62件 14,550,000 ・山梨県休業等要請協力金 63件 6,850,000 <p>④市内に対象店舗、施設を有し事業を行っている法人又は個人事業者で、「山梨県休業等要請協力金」を申請した交付決定を受けたもの、または、「一時支援金」「月次支援金」を申請し交付決定を受けたもの</p>	R2.7.1	R2.10.9	国や山梨県から支援金を受けた事業者に対し給付金の上乗せをすることによって支援することができた事業継続を支援した。
15	がんばろう大月 新規事業チャ レンジ補助事業	7,053,000	5,700,000	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢等の変化の中で、市内で新たな事業を開始する者に対して助成を行い、地域経済の維持を図る。</p> <p>②市内で新たな事業を開始しようとする個人及び法人が機械器具を購入、施設の改修を行う経費への助成（補助率1/2・1件当たり上限2,000千円）</p> <p>③対象事業者 5件 7,053,000円</p> <p>④市内で事業を新たに開始する者</p>	R2.7.1	R3.3.31	事業を新たに開始する事業者に対して助成を行い、5件の事業を開始させることができた。 中にはこれまで大月市になかった事業もあり、地域経済の活性化につなげることができた。
16	がんばろう大月 路線バス利 用者感染対策・安全対策支 援事業	991,100	900,000	<p>①新型コロナウイルス感染症の拡大により、路線バス利用者の感染対策及び安全対策を講じ、利用促進を図る路線バス事業者を支援する。</p> <p>②路線バス運行に際し、感染症拡大防止に要する経費及び路線バス利用者の安全対策に要する経費を助成する。</p> <p>③対象事業者 991,100（1社）</p> <p>④市内路線バス事業者</p>	R3.9.30	R4.3.31	路線バス事業者やバス利用者に対する感染症の予防や業務の安全対策を行うための経費を助成し、感染症拡大防止や安全対策を講じることで、路線バスを安心して利用できる環境の整備を行うことで利用促進に効果があった。
17	児童登下校安全対策バス運 行事業	1,146,000	1,146,000	※事業No.2と同一事業 (財源の区分けのための再掲)	R3.4.6	R4.3.25	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスで移動中の3密を解消できたため、児童生徒及び保護者の登下校に対する不安を軽減できた。 ・スクールバスで移動中の3密を解消できたため、登下校に起因する感染者が発生しなかった。
合計		195,763,386	184,721,000				